

平成 25 年度第 3 回白井市立図書館協議会（概要）

1. 開催日時 平成 26 年 2 月 28 日（金）16：00～17：30
2. 開催場所 白井市立図書館 2 階 研修室 1
3. 出席者 委員 吉井会長、田中委員、中澤委員、進藤委員、吉田委員
事務局 黒澤文化課長、黒澤図書館長、森山副主幹、鎌田主査、内山主査
欠席者 宮田委員、高花委員
4. 傍聴者 なし
5. 報 告
 - (1) 平成 25 年度主要事業中間報告及び利用状況について
 - (2) 平成 25 年度図書館資料購入状況について
 - (3) 平成 26 年度主要事業計画（案）について
 - (4) 平成 26 年度図書館費（案）について
 - (5) 平成 26 年度図書館資料購入計画（案）について
 - (6) 図書館電算システムの更新について
6. 議 事
 - (1) 利用者アンケート結果と対応について
 - (2) 夜間開館の試行結果と対応方法について
 - (3) 開館 20 周年記念事業（案）について
7. 配布資料
 1. 平成 25 年度 主要事業中間報告及び利用状況（H26.1 月末現在）
 2. 平成 25 年度 個人利用状況（月次）（H26.1 月末現在）
 3. 平成 25 年度 レファレンス（H26.1 月末現在）
 4. 平成 25 年度 センター図書室個人利用状況（H26.1 月末現在）
 5. 平成 25 年度 図書館資料購入状況
 6. 平成 26 年度 主要事業計画（案）
 7. 平成 26 年度 図書館費（案）
 8. 平成 26 年度 図書館資料購入計画（案）
 9. 図書館電算システムの更新について
 10. 議事（1）利用者アンケート結果と対応について
 11. 議事（2）夜間開館の試行結果と対応方法について
 12. 平成 25 年度図書館時間別入館者数統計（平成 25 年 4 月～平成 26 年 1 月）
 13. 議事（3）開館 20 周年記念事業（案）

8. 議 事 以下のとおり	
事務局	平成 25 年度第 3 回図書館協議会を開催する。
会長	こんにちは。任期 2 年の半分になった。例年の報告もあるが、議事が多いので中身を濃く進めていきましょう。
事務局	(1) ～ (6) まで資料に基づき報告。
会長	図書館システムは OS が Vista に更新される理由が知りたい。1 年間の保守契約では無理だったのか？
事務局	機器本体が古いため容量が少なく、Windows7 を搭載することができなかった。
事務局	議事 (1) について説明 アンケート結果をみると利用者の方には、おおむね満足いただけているようである。今後の課題としては、資料全般の充実、資料を探す検索機械の充実などがあげられる。
会長	アンケート結果に「学術書の充実」という意見があるが、県立図書館からの取り寄せシステムについて、ご存じないのだろうか？
事務局	来館時にすぐに見たい、という要望ではないかと思う。
会長	図書館は生活文化の中心であり、白井の立地を活かした地域の図書館らしい選書が必要だと思う。だからこそ国会図書館や県立図書館との横のつながりが重要だ。ただ、このような意見があるということは、それだけ白井の図書館が期待されているのだろう。「CD や DVD の種類が少ない」という意見も、レンタルショップとは異なるのだから、現状のままでよいのではないだろうか。
事務局	CD や DVD は、現在購入できない古いものを期待されている方もいる。全ての利用者が満足できる資料の構成は難しい。
事務局	議事 (2) について説明 夜間開館の試行期間に入館者数を調査した。季節により増減はあるが、一定の入館者が、図書館内に滞在していることがわかった。利用状況を貸出数などからみると 5 時以降は少なく、職員が対応する必要のある業務は少ないのが現状である。午前の 2 時間半と夜間の 2 時間の利用状況は平成 25 年 4 月～ 26 年 1 月まではほとんど変わらない。 ただ、冬季 12 月～ 2 月の利用状況は、夜間の利用者が若干少ないと思われる。

	<p>予算の時期にはこの統計が使えなかったため、26年度は年間を通して19時閉館とする。4名が出勤時間をずらして夜間開館に対応しているが、開館から午後3時までの利用の方が多く、特に午前中の業務に若干の影響が出始めたことから、平成26年度は、非常勤職員を2名増員することにしたい。</p>
会長	<p>非常勤職員を2名増員して、具体的にどのような作業をするのか？</p>
事務局	<p>人数がそろわないため、おろそかになっていた開館準備作業をする。センター図書室への連絡車準備業務や、スマートフォンや自宅パソコンからの予約資料の収集作業などに割り当てる予定である。</p>
委員	<p>開館時間前に待っている人が少なくなったというのは？</p>
事務局	<p>20年前の図書館開館当初は、朝から利用者の方が入口前で待っており、開館と同時に入館し、新聞や週刊誌を閲覧する人が多かった。現在は、図書館のある暮らしが定着したことや定年退職されてから初めて図書館を利用する方などが、朝の時間帯を利用しており、落ち着いて新聞や雑誌を利用するようになっている。</p>
事務局	<p>議事(3)について説明 平成6年7月3日に文化センターが開館した。図書館は10月6日に開館した。開館から20年が経過し、記念事業を10月に予算をかけずに実施する予定である。委員のみなさんから良い案があれば、お教えいただきたい。</p>
会長	<p>予算も必要だと思うが、講演会を行うのは難しいのだろうか？</p>
委員	<p>平成26年度予算がほぼ決まっていると思うが、今から講演料の確保は難しいか？</p>
会長	<p>無料の場合、ボランティアの講師は検討できるか？</p>
事務局	<p>検討する。</p>
委員	<p>資料費が少なくなった分は購入数を減らすという説明があったが、ガイドブックなど利用が多い資料は、あまり少なくしては利用者が困るのではないか。</p>
事務局	<p>ガイドブックの購入数については、前回の協議会で多すぎるのではないかとのご指摘があった。毎年発行されるものは、隔年購入にするなどの工夫をし、種類を減らすことなく選書し収集する予定である。</p>
委員	<p>20周年記念事業のなかで、子どもたちも参加してくれる事業は何かあるか？</p>

会長	「読書ノート」は人気がでると思う。
委員	記念品のための予算はないのか？桜台センターのフェスティバルでは、雑誌の付録などを景品として配布していたようだ。
委員	民間のブックフェアなどの無料の品物を集めてくるのはどうか？
会長	先進図書館の事例はどのようなものがあるか？
事務局	浦安市立図書館では昨年30周年記念事業を行った。大先輩の浦安や成田の図書館では様々な記念行事や著名な作家の講演会を行っている。白井では財政状況が厳しく作家を招いての講演会などはできないが、今まで市民の方々の利用に支えられてきたことに感謝の気持ちをこめて、職員が工夫してできる事業を開催したい。
委員	おはなしカレンダーも協力できる。他の団体にも呼びかけたらどうだろうか？スタンプラリーをして、読書ノートをプレゼントするのはよい。市民に分かりやすい宣伝と広報をお願いしたい。
会長	手作り、しかも市民の参加型のイベントはよい。イベントが成功すると次の30周年・40周年とつながっていくと思う。
委員	本の貸出冊数に応じたプレゼントもよいのではないか。
委員	読書指導推進補助教員が中心となって、例えば、「3年生全員がしおりを作って、図書館20周年の記念品にしよう」とすると、ある程度の数も作れるし、生徒が参加もできてよいのではないか。
委員	桜台のセンターフェスティバルで、ガールスカウトが「羊の工作キット」を作っていた。簡単で見栄えもよかった。
委員	図書館は職員が少なく業務自体が本当に忙しいので、記念品まで作るのは大変だと思う。
委員	ふるさとまつりといっしょにボランティアをお願いするのはどうか。
委員	文化センターの中で図書館のカラーを出すのがよいと思う。
会長	図書館常連の利用者に声をかけるのはどうか？

事務局	「もえぎ」朗読会には50人ぐらい集まる。図書館では子どもむけの集会事業が多かったので、高齢の利用者への感謝の気持ちも表わしたい。
会長	高齢の利用者も巻き込むとよいのではないか。広報を活用して。
委員	シニア世代のボランティア精神をどのように引き出したらよいのだろうか？
委員	感謝の気持ちを伝えつつ、ボランティアに参加してもらうのはどうか？
委員	ボランティアにはリサイクルフェアで優先的にさしあげるなど、どうか？
会長	「古い教科書」展示はどのくらい古いものか？明治・大正時代だとおもしろい展示になるのではないか。
事務局	具体的な内容については今後郷土資料館と話し合う。
委員	市役所で平和事業のひとつとしてやっている、「おりづる」があるが、子どもも巻き込むと教育としてもよいと思うのだが。しおり作りに子どもたちが協力して、高齢者も喜ぶのではないか？ただ、生徒を巻き込むには核になる職員が必要でそれをだれがやるのか？難しいと思う。
委員	おはなしのボランティアにも図書館の声を伝えていきたい。 アンケート結果をみると、市民の多くが図書館を満足していたのではないか。 それも職員の対応がよいからではないか。
会長	白井に以前から住んでいた在来の利用者はあるか？
事務局	公民館図書室時代からの利用者もいる。現在ではニュータウン地区の利用者の方が多くなっている。
委員	車を運転しないので、図書館まで来館しづらい。
委員	桜台地区の子どもたちも、図書館までは遠いので来館しづらい。
委員	現状では難しいが、センター図書室の自習スペースももう少しあればよいと思う。
会長	ニュータウンといってもすでに30年以上になり、白井が故郷になっている。図書館は情報蓄積と発信のポイントであるから、20周年記念事業を多くの参加者に促していきたい。

委員	福祉センターの利用者に図書館を紹介しているか？
事務局	福祉センター開館当初、図書コーナーの図書を図書館で選書した。リサイクルブックも送っている。現在の指定管理者は、図書購入予算があり利用者層に応じた図書の購入を行っている。図書館からは選書に必要な新刊案内を送っている。
委員	学校図書館について。今年度、悲願であった全校の職員配置ができ、教育が充実してうれしく思っている。白井は教員免許をもった人を採用したので授業にかかわってもらえるため、かなり先進的な事例である。ただ、研修は必要。貸出だけでなく、研修や会議にも市立図書館がかかわっている。その努力について、アピールしていくことが大切だと思う。
委員	学校図書室に指導教員が配置されて、図書室のボランティアも動きやすくなった。以前は図書館での研修があったが、ボランティアだけの活動には無理があった。読書活動アドバイザーのバックアップも大変大きい。
委員	20周年記念事業はセンター図書室ではどのようにするのか？
事務局	4月以降話をつめていきたい。
会長	図書館の運営に各協議会委員の意見を生かしていただければうれしい。次回は7月ですか？その頃にはもっと具体的に動けるのではないか。
委員	アンネ・フランク事件について。白井では問題はないか？
事務局	千葉県内でも、白井でも一般書・児童書含めて、被害はない。児童書とヤングコーナーの蔵書は念のため利用者から見えるカウンター内に保管している。
会長	昨年の蔵書点検では、盗難数はどれくらいだったか？
事務局	300冊ほどだった。盗難は減っている。
会長	意見は出たので、事務局に進行をお返しする。
事務局	長時間ありがとうございました。